

笛吹社協だより

かけはし



石和



御坂



一宮

住民の声を地域づくりにつなげる 地域福祉推進委員会



八代



境川



春日居



芦川

くわしくは・・・
▶▶▶P4～5へ

～ 目次 ～

発行

社会福祉法人
笛吹市社会福祉協議会

住所/〒406-0822 笛吹市八代町南 917
電話/055-265-5182 FAX/055-265-5183
広報「かけはし」には、赤い羽根共同募金の配分金が活用されています。
発行責任者：社会福祉法人 笛吹市社会福祉協議会 会長 早河正弘

- P2 ▶▶ ●平成27年度事業報告・決算
- P3 ▶▶ ●日常生活自立支援事業のご案内
- P4 P5 ▶▶ ●**特集** 地域づくり「地域福祉推進委員会」の紹介
- P6 ▶▶ ●第8回社会福祉大会ボランティア
功労賞・奨励賞受賞者のご紹介
- P7 ▶▶ ●第2回チャリティーゴルフ大会のご案内
●善意の寄付・寄贈の御礼
●平成28年熊本地震義援金の報告
- P8 ▶▶ ●「ふえふき通信」

事業報告



社会福祉法人
 笛吹市社会福祉協議会
 会長 早河正弘

笛吹市社会福祉協議会は、基本計画である第2次地域福祉活動計画と組織力強化を目的とした第2次発展強化プランの二つの計画に基づき、平成27年度の重点目標（「住民との協働を更に具体的に推進します」「各町単位で地域福祉を推進します」と、それを達成するための具体的な方法を定め、地域福祉推進のための事業を行いました。以下に具体的な方法ごとに報告をいたします。

「相談支援の強化」では、一人暮らしや認知症の高齢者、障がいのある人たちの地域での生活を支援するために地域住民と共に支援を行ったり、職員が様々な相談に対応できるように研修を積むなど、地域の困りごとを住民と協働し、相談したり解決したりする場をつくる活動をいたしました。

「ボランティア・市民活動のネットワーク化と活動支援の強化」では、平成28年1月に市民活動ボランティアセンターが開所し、市民活動団体、NPO、ボランティア、行政及び本会による運営委員会が構成され、官民協働で市民活動の活性化を目指すなど、ボランティア・市民活動のネットワークを図りました。また、災害に関するボランティアのネットワークによる災害救援ボランティアセンターの設置・運営訓練の実施、平成26年度社会福祉大会の成果からの子ども子育て支援のNPOや団体

などによる連絡会の準備会を開催するなど、ネットワークを活用して、ボランティア・市民活動協働を進めました。

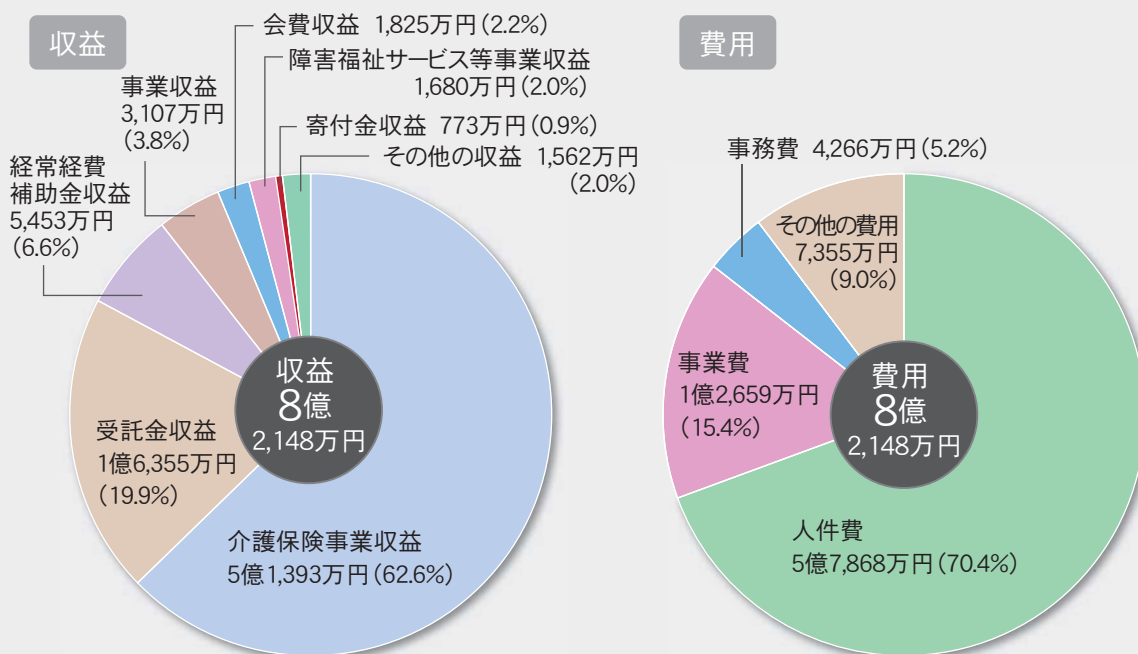
「地域福祉推進のための各町の仕組みづくり」では、各地域の地域福祉推進委員会を中心に地域での困りごとを話し合い、支え合える地域となるための活動を開始し、重い障がいのある人が地域の防災訓練に参加するなど、支え合い活動を推進し、全ての住民が困りごとに気付き合える地域づくりを進めました。さらに、地域住民による登校時の見守り、各世代が参加する地域行事の開催など、子どもからお年寄りまで世代を超えた全ての地域住民が交流を行い、顔が見える関係づくりを進めました。

「介護保険事業と地域福祉の連携」では、認知症高齢者に対し地域住民と共にサロンなどへの参加を促しました。また、ひきこもりがちの65歳以上の障がい者にボランティアや民生委員と共にかかわり本会地域活動支援センター（作業所）に通所できるようにしました。

このように、介護保険制度を基盤としつつ、寝たきりや認知症などの要介護状態になっても住み慣れた地域でのよりよい生活を住民と共に支援してきました。また、通所介護事業所では、地域福祉推進委員、ボランティア、近隣住民を行事に招いて理解を深める機会を作り、家族会を通して家族に地域の見守りなどの情報を提供しました。さらに、居宅介護支援事業所では地域の支援活動を取り入れたケアプランを作成するなど、要介護者のみならず、そのご家族、支援者も安心して生活が送れるよう地域住民との協働を図りました。

このように、平成27年度の重点目標は、いくつかの地域で着実に地域づくりが進んでいます。全地域までは広がっておりませんが、協働した地域づくりを展開できることが今後の課題といえます。

決算概要



※その他の費用の中には、当期活動増減差額 3,832 万円を含みます。

あなたのくらしのあんしんのために

にち じょう せい かつ じ りつ し えん じ ぎょう

日常生活自立支援事業

にちじょうせいかつじりつしえんじぎょう
日常生活自立支援事業ってなあに？

にちじょうせいかつじりつしえんじぎょう
この日常生活自立支援事業とはいったい
なんにちじょうせいかつじりつ
何なのか？ 日常生活の自立って・・・
では、Kさんの例をみてみましょう。

Kさんは退職後、近所の方や友人と交流をしながら年金生活をしていましたが、数年前から日常生活に変化がみられるようになりました。Kさんは徐々に記憶力や体力に不安を感じるようになり、今まで普通に行っていた手続きや、生活費のやりくりをすることに自信をなくしていました。この不安は病気によるものでした。

そんなKさんの生活の様子をみて地域の方々から、社会福祉協議会(社協)に相談が入り、Kさんから日常生活の不安や心配なことを伺いました。そこで必要な支援やサービス

にちじょう き きんじょ かつ
日常気にかけてくれる近所の方



Kさん

りょう 利用できるようにお手伝いする日
じょうせいかつじりつしえんじぎょう
常生活自立支援事業をご紹介します
した。

この事業では、知的障がい・精神障がい・認知症等により、日常生活に不安を抱えている方へのサポートを行います。

Kさんの例では、介護保険サービスの利用手続き支援、税金・水道光熱費・介護サービス利用料の支払い代行、生活費の振り分けなどKさんの意向を確認しながら支援させていただいています。

Kさんは、この日常生活自立支

えんじぎょう りょう かいし てきせつ かい
援事業の利用を開始し、適切な介
ご つか いぜん
護サービスを使いながら、以前の
ようちいき かつがた ころりゅう たの
ように地域の方々と交流を楽しみ、
えがお と もど す な ちいき
笑顔を取り戻し住み慣れた地域で、
あんしん く
安心して暮らしています。

Kさんは今後、得意な英語を活かし、「子どもたちにボランティアで英語を教えてあげたい。」という意欲もわいてきており、その実現に向けて検討を始めています。

社協は、地域の皆様と、保健医療福祉関係者と共に地域づくりの視点を持ってあなたのくらしのあんしんのために活動しています。



せんもんいん
専門員

せいかつしえんいん
生活支援員

し えん ない よう 支援内容



ていきてき ほうもん そうだん
定期的な訪問、相談



かいごほけん ふくし
介護保険などの福祉サー
りょうてつづ しえん
ビスの利用手続きの支援



かね よきん
お金のやりとりや預金の
だ い しえん
出し入れの支援



つうちょう いんかん ねんきんしょうしょ
通帳や印鑑・年金証書な
どの保管

りょう し かつ 利用の仕方

しゃきょう きがる もう こ
社協へ気軽に申し込んでください。あなたの困りごとの相談に
おう ひつよう しえんないよう かくにん しゃきょう けいやく か
応じ、必要な支援内容を確認し、社協と契約を交わします。
しゃきょう ひみつ まも せいかつ ささ あんしん
社協は、あなたの秘密を守りながら生活を支えますので安心し
たの くだ せうだん むりよう
て頼んで下さい。相談は無料です。

り ょうりよう 利用料

さいしょ じかん えん い ご ぶん えん
最初の1時間 1,000円、以後 15分ごと 250円がかかります。
しよるいなど あず げつがく えん かつどう ともな こうつうひ
また書類等のお預かりは月額 300円、活動に伴う交通費は
1kmあたり 20円がかかります。

お問 合わせ

ほんじょち いきふくし か こうけん
本所地域福祉課・後見センターふえふき
ふえふきちく ちいきふくしけんりようご
(笛吹地区地域福祉権利擁護センター)

TEL 055-265-5182

あなたが住まいの地域事務所

いさわ みさか いちのみや やつしろ さかいがわ かつがい あしがわ
(石和・御坂・一宮・八代・境川・春日居・芦川)



- 地域づくり
- 福祉教育
- 災害対応
- 相談

住民の声を地域づくりにつなげる 笛吹社協の 地域福祉推進委員会をご紹介します



笛吹市に、各町単位ごと（7地域）に、「地域福祉推進委員会」が設置されています。現在、市内全体で148名の方々が、地域福祉推進委員として、地域づくりの活動を社協と一緒に推進しています。

今までの地域福祉推進委員会の活動から

座談会の開催によって、見守り活動や遊休地の活用につながった地域、地域福祉推進委員会が主体となり、地域住民の交流の場となる祭りが開催された地域、サロン活動が活発になった地域、生活支援ボランティアが立ち上がった地域など、様々な活動が行なわれています。

今回は、福祉懇談会の開催を通して、地域の課題に目を向け、その解決に向けた取り組みにつながった境川町の地域福祉推進委員会を取り上げます。



委員長
宮澤 黎夫さん

境川町地域福祉推進委員会の取り組み 〜未来の福祉につながる小さな変化と大きな一歩〜

1 地域福祉推進委員会の取り組みの見直し

境川町地域福祉推進委員会委員長の宮澤さんに取り組みについてお話を伺いました。

境川町の寺尾地区で20代〜80代と幅広い世代の方が集まり、「地域の良いところや困ったところなど」について話し合い、地域づくりの実践に繋がった事例を紹介させていただきました。

2 福祉懇談会

先がけとして、寺尾地区で開催することになりました。



笛吹市の合併後、地域福祉推進委員会の主な取り組みは社協の理事・評議員候補者の選任でした。しかし、少子高齢化や高齢者の孤独死などの問題に直面し、住民が積極的に地域づくりへ参加できるように、地域福祉推進委員会を境川の地域福祉について、考える場となるようにしてきました。そして、地域の現状や住民の生の声を聞くために地域福祉推進委員会を中心となって福祉懇談会を開催しました。

3 地域づくりの実践



寺尾分校さくら祭り
諏訪南宮神社の美化活動

- 〈集まった意見〉
- 自然が豊か。
 - 地区のシンボルである寺尾分校を子どもの遊び場や人が集う場として有効利用していきたい。しかし、そのための維持ができるかが心配である。
 - 地区がまとまっている。
- 〈決定内容〉
- 3地区合同諏訪南宮神社の美化活動。（実施中）
 - 寺尾分校で行うさくら祭りを3地区合同で実施。（計画中）
 - ご近所同士の見守り ※必ず手渡して回覧板を渡す。（一部実施中）
 - 夏だけでなくラジオ体操を実施する。（計画中）



寺尾分校さくら祭り

◆これからの目標について伺いました

『福祉懇談会』を境川以外の地区でも行っているようにし、地域のことは自分たちで解決できるようにしたいと思っています。



境川地域事務所
宮澤さん
鶴田

地域福祉推進委員会とは？

Q どのような方が地域福祉推進委員になるのですか？

A 各町単位ごとに、民生委員・児童委員、各種団体の代表、ボランティア活動を行う団体の代表、区長会及び地域住民の代表、各町の行政の代表等に、委員になっていただいております。

Q 任期は、2年間で本会会長より委嘱をいたします。

A 平成28年、29年度の地域福祉推進委員は、下段の名簿のとおりです。

Q 地域福祉推進委員会では何をしていますか？

A 地域福祉推進委員会では、各町（7地域）ごとに、年に数回の協議を行っています。そこでは、社協理事・評議員の選出に関する事項の取り決めや、地域福祉の推進に関する事項の共有などを行なっています。

Q 住み良い地域にするために、地域のよいところ、困っていること等を、知恵、アイデアを出し合いながら自分たちができることを共有し活動をしています。

社協から

「わが地域」への思いをそれぞれの胸に持ち、お互いに支え合いながら、誰もが住みやすい地域をみんなで作っていくとする住民の皆さんの活動が、7つの地域で、少しずつ実を結び始めています。市全体では、各会の活動についての情報交換を目的として、「地域福祉推進委員会連絡会」の開催も予定しています。地域福祉推進委員会を中心に、住民の皆さんの声を、より良い地域づくりにつなげることができるよう、社協も皆さんと一緒に、全力で頑張ります。

地域福祉推進委員の皆さん

芦川町	春日居町	境川町	八代町	一宮町	御坂町	石和町							
野澤今朝幸 芦澤 薫 芦澤 俊恵 芦澤 友子 芦澤 義男 飯田 修 梶原 けさ 金澤 正人 霜村 代晴 霜村 守久	角田 幸夫 田川 正夫 中村 拓 村野 寿喜 天野 茂幸 芦澤 雨宮 雨宮 静宗 雨宮 義美 飯島 潔修 飯田 祐 石原	岩崎 孝子 岩間 喜久 窪田 公信 窪田 洋泰 窪田 美佐 曾根 英	田草川睦美 竹下武彦 竹下 真澄 田中 昭勇 田中 勝彦 田邊 英儀 古屋 光也 山崎 賢尚 山崎 尚恭	宮澤 黎夫 宮澤 千代子 宮澤 富美恵 長合 俊美 落橋 田昌 橋本 宗一 中村 長	樋口 猛一 小林 隆子 飯塚 清子 石川 節秋 市川 教生 今泉 秋江 大風 志げ	宮川 孝子 宮川 三子 宮川 靖代 西村 利雄 雨宮 美枝子 赤尾 喜那美 小方 信治 小池 敏夫 神宮 字彦 田草 川光 田中 始富	成島 春人 野沢 初幸 野沢 正光 早河 和太 林 原謙 依田 昭源 米部 渡	池田 聖昭 塚越 忠江 天野 光文 天野 正義 上野 正智 小澤 郁雄 橋本 和重 小村 林八 志村 金夫	返高 義一 田野 晴邦 高野 屋崎 古保 細田 堀内 山	盛治 治雄 一治 洋雄 田崎 豊實 千	竹内 稔司 根津 尚美 飯島 充冬 飯井 清昭 井上 植村 岡田 堂	三枝 宣美 坂本 清一郎 杉本 藤洋 関本 野哲 関野 春邦 高田 長宏 長萩 長太	林進一 広瀬 美子 堀井 靖保 堀井 美真 堀井 武山

赤：委員長 ※五十音順
青：副委員長 敬称略



ながさかりえこ
長坂 里恵子 様

20年に渡り地域のサロン活動に貢献しています。

長 坂里恵子様は「何か自分に出来ることがあれば」と、25年前に配食サービスの皿洗い等のボランティア活動を始められました。平成8年には御所サロンの立ち上げから関わり、現在まで約20年に渡り地域の高齢者の屋外散策や頭の体操、高齢者と子どもの交流など、様々な介護予防活動を推進されてこられました。約230回にも及ぶ活動の中では、さりげない目配り・気配りや明るい笑顔で地域のご高齢者を見守ってくださっています。



御所サロンの皆さんと楽しい時間を過ごしています。



くぼたよしこ
窪田 芳子 様

長年に渡り様々なボランティア活動を行われています。

窪 田芳子様は、義理のお母様がデイサービスを利用されていた際、大変お世話になったので、お返しが出来ればという思いから、デイサービスフロアボランティアを始められました。それをきっかけに、デイサービスのおやつ作りなど、他のボランティア活動にも参加されています。また、春日居見守りたいにも所属され、外出時にはたすきをかけ見守り活動を行なうなど、積極的にボランティア活動をされています。



利用者様とも積極的に交流をされています。



うえむらあきこ
植村 詔子 様

長年ボランティアの第一線で活躍されています。

石 和町四日市場区在住の植村詔子様は、民生委員、市老人クラブ副会長・若手委員長として活動するほか、いきいきサポーターや女衆ボランティアとして、市内各地でボランティア活動をされています。また地元四日市場区では、自主的にサロンを週1回開催し、代表者として企画・運営に携わるなど、長年にわたり、ボランティアのリーダーとして活躍されています。「植村さんがこんなに頑張っているのだから私も頑張ろう」と住民や他のボランティアをやる気にさせてくださる存在です。



植村さんの目配り・気配りで楽しいサロンが行われています。



えがおたい
笑顔おとどけ隊 様

体操普及や様々なボランティア活動を行っています。

―― 宮町の笑顔おとどけ隊様は、シルバー体操指導員養成講座の修了者により、自主活動グループとして平成22年12月に立ち上げられました。シルバー体操指導員として、「一宮地域を中心に体操を普及していこう」、「おおいに笑って身も心も軽やかに健康寿命を延ばして行こう」という目的のもと活動されています。福祉施設や笛吹市総合介護予防事業やってみるじゃんでの活動を年間20回程行なっている他、高齢者や障がい者などの各福祉施設への慰問や各種イベントへの参加、協力など、地域での事業にも積極的に参加されており、幅広いボランティア活動に取り組まれています。



公民館で体操を指導しながら、笑い(笑顔)を届けています。

第2回 笛吹市社会福祉チャリティーゴルフ大会 チャリティーゴルフに参加し地域福祉に協力しよう!

●開催日 **9月7日(水)**

●プレイ費 各自精算

●会場 **境川カントリー倶楽部**

●参加費 **3,000円** (パーティー代、賞品代、チャリティー募金を含む)

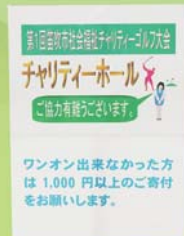
●主催 **第2回笛吹市社会福祉チャリティーゴルフ大会実行委員会**

笛吹市社会福祉チャリティーゴルフ大会



ルール

18ホールズストロークプレイ(ローカルルール適用)ペリア方式で同ネットは年齢上位者が上位の順位となる。スタートはショットガン方式。なお、6番ホールをチャリティー募金ホールとし、ワンオンしなかった場合は1,000円の募金をしていただきます。



<参加人数> 40組 160名(予定)

<申込期日> 8月10日(水) ※定員になり次第締め切ります。

<申込方法> 後日配布するチラシ裏面の申込書に必要事項を記載し、事務局までFAXまたは持ち込み。

<事務局> 〒406-0822 笛吹市八代町南917 TEL: 055-265-5182 FAX: 055-265-5183

笛吹市社会福祉協議会 総務課

※大会に関するお問合せ等は事務局までお願いいたします。

※ご協賛金・ご協賛品の受付をしております。ご協賛頂きました金品に関しましては、大会参加者様への賞品としてご使用させていただきます。御協力をよろしくお願いいたします。



善意の寄付・寄贈の御礼

皆さまから寄せいただいた寄付・寄贈は笛吹市の福祉のために活用されています。皆さまの温かいご協力ありがとうございます。

●地域福祉の推進のために

竹内稔 様 [石和]

▶ 100,000円

ボランティアグループ“まっ黒駒” 様 [御坂]

▶ 生地 約64kg

●春日居福祉会館利用者のために

澤登昭胤 様 [石和]

▶ イタリア製6人掛けソファー式

いきいき活動囲碁 様 [春日居]

▶ 壁掛け時計1台

●デイサービス利用者のために

笛吹市立八代小学校 様 [八代]

▶ タオル200枚・石鹸200個

株式会社エル昭和 様 [境川]

▶ 西川ムアツクッション3枚

境川手芸ボランティアの会 様 [境川]

▶ 座布団カバー・クッションカバー35枚



●熱中症予防啓発活動のために

株式会社大塚製薬工場OS-1事業部 様 [東京都]

▶ 経口補水液OS-1 500mlペットボトル×408本

▶ 経口補水液OS-1ゼリー 200g×510個

「熱中症予防啓発活動」については
こちらから



●「花さかじいさん」事業のために

笛吹ロータリークラブ 様 [市内全域]

▶ プランター30基

花苗150株

「花さかじいさん」事業の様子は
こちらから



※順不同になります。4月~6月。

平成28年 熊本地震義援金

皆様の温かいご支援ご協力に感謝申し上げます。

山梨県共同募金会笛吹市支会では、熊本地震で被害を受けられた被災者を支援するため、4月15日から義援金を受け付けています。

これまで当支会で受け付けた義援金の金額は **162,608円** となっており、内訳は下記のとおりです。(6月17日現在)

◎笛吹市御坂町親和会連合会 様 12,422円

◎匿名希望2名 様 30,000円

◎笛吹市社会福祉協議会職員一同 120,186円

当支会で受け付けた義援金は、熊本県、日本赤十字社熊本県支部、熊本県共同募金会等で構成される義援金配分委員会を通じて、被災者に届きます。

義援金受付期間は
平成29年3月31日
まで延長されましたので、引き続き皆様の温かいご支援ご協力を
よろしく申し上げます。

受付場所や税制上の取り扱い等についてはホームページをご覧ください。



「障害者地域活動支援センター」ふえふき通信

レポート by 慶

新しいプログラム「個別活動日」つくりました！

今回は今年の5月より新しく始めた「個別活動日」のプログラムを紹介します！

支援センターでの活動は、皆で行なう集団プログラムが中心です。しかし障がいの特性から、「人が多くと疲れる」「2時間もいるのは大変」などの意見もありました。そこで「ひとりひとりに合った」ことができるように、「少しの時間でも外出できるように」作るのが「個別活動日」です。

家でタバコ吸ってる毎日でいいのかな…

1 日中活動の場がほしいな…でも、人と会つのがストレス…前は5分しか支援センターにいれなかったし…自信ないなあ。

2 個別活動日にAさんを誘いました〜

3 個別活動日なんていうのがあるんだ。職員と一対一か…緊張するな…でも10分でもいいなら行ってみようかな…

4 個別活動初日に、Aさんは頑張って支援センターに来ました〜緊張したな。何話せばいいかわからなかったけど、色々話したら30分も経ってたな。来週も行くのかな。

5 毎週支援センターに行けるな…行ってみようかな。他のプログラムにも行けるかな…行ってみようかな。

6 次はもっと楽しく他のプログラムにも参加したいな。他の人と会話できるようにすれば楽しくなるかな。個別活動日で練習しようかな。もっと日中活動に参加できるといいな。家にいるのが退屈に感じてきたぞ。

今Aさんはとても頑張っています。AさんのペースでAさんの思いに寄り添いながらの個別活動日。このように、まだ出来たばかりのプログラムですので、皆様の意見を聞きながら一人でも多くの人が参加できるように調整していきたいと思っております。よろしくお願ひします。



文化展出品予定のAさんの作品



奈緒と慶レポート

レポート by 奈緒

「身近にできる合理的配慮」

4月から支援センターに配属された出ッ所奈緒です。よろしくお願ひします。

4月に支援センターでは、職員のデスクの配置換えを行いました。そのときに床にカバーが貼ってあった配線を外し、天井から吊るしました。「なぜこんな面倒なことをするのだろう…」と思っていました。これには理由があったのです。今年4月より施行された障害者差別解消法に關係していたのです！！

配線のカバーはわずかな段差ですが、超えることが難しい方もいます。車いすでは3cm程度の段差でも前に進めなくなりますが、障がいがない人でもつまずくことはあります。配線のカバーは、障がいのあるなしに関わらず障壁となる可能性があります。支援センターに来所される全ての方が不自由なく利用できるように、私たちは社会的障壁を取り除く合理的配慮を考えていく必要があります。全てを「ユニバーサルデザイン」や「バリアフリー」に改装す



障害者差別解消法とは？

(障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律)

この法律は行政機関や民間事業者が「障害を理由とする差別」をなくし、障がいのある人もない人もすべての人がお互いに人格と個性を尊重しながらともに生きていく社会をつくることを目的としています。

